

“誰もが元気に支え合い、安心して暮らせるまちづくり”

それをめざすのが、湯河原町地域福祉活動計画です。

「困っていることがあります…。」「何か役に立てることがあるでしょうか…。」

そんな願いや思いが繋がって、みんなが笑顔でいられる町にしたい。



えがお

第17号

(第17号主な内容)

みんなの力で支えあう！災害ボランティアについて

東日本大震災以降も毎年大規模な自然災害が発生しています。状況にもよりますが、復興復旧には長い時間と沢山の人の力が必要になります。その力の一つが災害ボランティア（以下 災害ボラ）です。

※“えがお”は町民の皆様と協働で、身近な福祉を考える参画の場です。地域福祉活動計画推進・取り組み等を掲載。年2回（4月・10月）発行いたします。

※えがおNo.17に記載されている内容につきましては、右記までお問い合わせください。

発行：社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会
令和5年4月発行

編集：湯河原町地域福祉活動計画推進委員会
湯河原町中央四丁目12番地5

電話：0465-62-3700/FAX：0465-62-5150

昨今の災害ボランティアについて

東日本大震災以降、毎年のように大規模自然災害が発生し、その地域では大きな被害を受けています。被災後、日常生活に戻る為の復興復旧に関するお手伝いをしてくださるのが災害ボラです。

近隣では、令和3年7月に熱海市伊豆山でありました、大雨による大規模な土石流災害時の災害ボラの活躍は記憶に新しいところです。

被災地の人だからこそできる災害ボランティア

災害ボラは被災地支援の為全国から沢山の人が集まり、主にガレキ撤去や泥かき等の作業がイメージされます。

実際には、被災地の人達も災害ボラに多く参加しています。令和3年7月に熱海市伊豆山でありました、大雨による大規模な土石流災害時の災害ボラは市内在住者を中心に構成されていました。作業内容についても被災状況等で求められるボランティアニーズは異なりますが、比較的負担の少ない軽作業等も行うことがあります。その中で被災地の人達には、地域に精通しているからこそできる取り組みがあります。外部から災害ボラに参加される人達は土地勘も薄く、被災地の人達も外部から来た人達に対して少なからず警戒心を抱くことがあります。こうした状況で道案内や地域との仲介役をしていただくことは、大変ありがたいことです。

被災地の人も、外部の人も復興復旧という共通の目的の為、共に災害ボラを行うことは、お互いのモチベーションを高める意味でも重要なことです。



災害ボランティア事前登録のお知らせ

大規模災害が発生・被害状況により、復興復旧を目的に災害ボランティアセンターが設置されます。その際に必要になるのは、災害ボランティアセンター設置準備、災害支援活動を行う災害ボラの協力です。特に土地事情に詳しい町内の人こそ必要です。

湯河原町社会福祉協議会では令和4年12月1日から「災害ボランティア事前登録」を開始しています。詳細については社協ホームページ内 ボランティアページをご確認ください。社協窓口でも受付中です。みなさまの登録をお待ちしております！



※湯河原町社協ホームページ内 ボランティアページ
<https://yugawara-shakyo.jp/volunteer>

